

サカイ引越センター 鹿児島県大島郡龍郷町と 「ネイチャーポジティブ宣言の推進に関する協定」を締結

株式会社サカイ引越センター(大阪府堺市:代表取締役社長 田島 哲康)は、鹿児島県大島郡龍郷町(町長:竹田 泰典)とネイチャーポジティブ宣言の推進に関する協定を締結しました。

龍郷町は、2025年6月30日に「ネイチャーポジティブ宣言」を発表しました。「ネイチャーポジティブ」とは、生物多様性の損失を食い止め、回復軌道に乗せることを意味します。龍郷町では、企業・団体・地域住民と連携し、「生物多様性」、「伝統文化」、「伝統的景観」の再生に取り組み、次世代へかけがえのない自然と文化を継承する活動を推進しています。

当社は、龍郷町が掲げる「人が来れば来るほど、自然も暮らしも豊かになる“再生型観光”を実現するまち、龍郷町」という理念に賛同し、協定を締結いたしました。

本協定に基づき、当社のエシカル引越の売上を利用して、龍郷町が発行する「J-クレジット」の購入に充て、同町の環境保全に活用します。自治体との取り組みとしては、三重県尾鷲市に続く2例目となります。

J-クレジットは、森林管理などによって削減・吸収したCO2等の温室効果ガス排出量を、国が「クレジット(排出権)」として認証する制度です。創出者は売却益を得られ、購入者はカーボン・オフセットに利用できるため、脱炭素経営や環境価値の取引に広く活用されています。J-クレジットの売買については、龍郷町と協定を結ぶ株式会社paramita(東京都新宿区:代表取締役 林 篤志・大澤 哲也)と連携し、3者で取り組みを進めます。

当社は、エシカルな引越サービスを通じて、カーボン・オフセットを推進し、CO2削減に取り組んで参ります。



左から、岡江 敏幸龍郷町副町長、山野 幹夫専務取締役、竹田 泰典龍郷町長、清水 雅人グループ推進室・M&A戦略室執行役員、吉岡 学グループ推進室・M&A戦略室課長

鹿児島県大島郡龍郷町

本協定の主な内容

- (1) 脱炭素の推進及び持続可能な地域づくりに資する取組の推進に関すること
- (2) 生物多様性、伝統文化、伝統的景観の再生及びその価値の可視化と継承に関すること
- (3) 再生型観光の推進及び観光を通じた地域資源の循環的活用に関すること

竹田 泰典 龍郷町長のコメント

我が町は、世界自然遺産の島、奄美大島の中にあり、先人たちから受け継がれてきた自然を敬い、自然遺産と共生する伝統文化を育んで参りました。しかし、気候変動や、生物多様性の損失は今や避けて通れない地球規模の課題でございます。こうした中、全国にネットワークをもち、環境負荷低減に真摯に取り組まれているサカイ引越センターを連携パートナーとしてお迎えすることになり、大変心強く思っております。

今回の協定により、環境保護にとどまらず、生物多様性を着実に回帰軌道に乗せるネイチャーポジティブの実現に向け、実効性のある活動を展開して参りたいと思います。

この協定が龍郷町の美しい宝を次世代へ受け継ぐための大きな一歩となり、地域と企業が共に成長する新たなモデルケースになることを期待しております。

共に手を取り合い、持続可能な未来を築いて参りたいと思っております。

山野 幹夫 専務取締役コメント

当社は1971年に創業し、今年で55年目を迎えます。トラックを使用する引越業は二酸化炭素を排出することから、環境のために何かできないかと考え、エンカル引越を2025年1月からスタートしました。この度、龍郷町にもご協力いただけることに大変感謝しております。また、龍郷町が掲げられているネイチャーポジティブ宣言の一助となれる取り組みを行えることを光栄に感じております。

今後、龍郷町の皆様と活動を進めていき、当社が龍郷町と一緒に環境保全に取り組んでいることを広めていきたいと思っております。また、一過性のおつきあいではなく、長いおつきあいとして続けていきたいと考えておりますので、これからどうぞよろしくお願いいたします。

—本件に関するお問い合わせ—

株式会社サカイ引越センター 広報課 中西

Mail : sakaipr@hikkoshi-sakai.co.jp TEL : 072-241-0464